

在宅医療・介護連携推進協議会	協議資料
令和 4 年 2 月 25 日	
市役所 302 会議室	

令和 3 年度 第 4 回
立川市在宅医療・介護連携推進協議会
協 議 資 料

令和 4 年 2 月 25 日（金）

報告事項①

新型コロナウイルスワクチン接種について				
初回接種 (1・2 回目)	【対象者】 12 歳以上			
	【ワクチン】 主にファイザー（ファイザー約 9 割、モデルナ約 1 割）			
	【接種実績】（令和 4 年 1 月 31 日現在）			
		人口	1 回目	2 回目
	立川市	184, 577	146, 495 (79. 4%)	144, 927 (78. 5%)
東京都	13, 843, 329	10, 853, 504 (78. 4%)	10, 758, 457 (77. 7%)	
全国	126, 645, 025	100, 383, 977 (79. 3%)	99, 581, 709 (78. 6%)	
令和 3 年 11 月下旬に未接種者へ接種案内ハガキ発送(約 25, 000 人宛) 現在も接種継続中（インターネット・電話で受付、医療機関で接種）				
追加接種 (3 回目)	【対象者】 2 回接種完了から一定期間が経過した方			
	8 か月経過（開始当初）			
	↓ 接種間隔の前倒し			
	6 か月経過（6 か月経過後の早い時期に接種できるよう対応中）			
	【ワクチン】 ファイザー、モデルナ			
供給割合はモデルナ約 6 割、ファイザー約 4 割				
【接種スケジュール】				
	接種開始日			
医療従事者	令和 3 年 12 月 13 日(月)			
高齢者施設入居者	令和 4 年 1 月 12 日(水)			
一般住民	令和 4 年 1 月 20 日(木) [予約開始 1/12(水)]			
【予約方法】				
2 回目接種日の早い方から順次、接種券を発送しており、接種券が届き次第、予約可能				
インターネット：24 時間受付				
電話：8:30～17:30（土日祝も受付、通話料無料）				
【接種場所】				
医療機関での個別接種を基本に、集団接種で補完（1・2 回目同様）				
医療機関：約 80 か所				
集団接種：空調機のある公共施設等				
小児接種 (5～11 歳)	【対象者】 5 歳～11 歳			
	【接種回数・間隔】 3 週間の間隔において 2 回接種			
	【ワクチン】 ファイザー（12 歳以上とは別製剤で容量等が異なる）			
	【予定スケジュール】			
令和 4 年 2 月下旬以降 ワクチン供給開始（国→東京都→立川市）				
令和 4 年 3 月以降 接種開始				

地域ケア会議より「ゼロ次予防」への取組	
提案	市民の中に「医療」「医師」「医療機関」が与える影響は大きいと、医療機関発信で「ゼロ次予防」に取り組めると拡散するのではないかと。病院だけでなく市内医院、歯科医院、薬局での待ち時間を「ゼロ次予防」のために活用できないか
ゼロ次予防とは？	予防の分類 3次予防：再発防止、リハビリテーション（社会復帰支援など） 2次予防：早期発見、早期治療（定期健康診断など） 1次予防：リスクの回避（生活習慣病予防など） 0次予防：無意識の健康行動（環境整備など）
現状	別紙参照
具体案	〔長い待ち時間を楽しい時間に転換〕 【場所】 病院、市内医院、歯科医院、薬局の待合室 市役所市民課にある大型モニター 【放映内容】「健康」「権利擁護」 - 各センターの機能や事業PR（DVD作成） ※各センターとは、地域包括支援センター、あんしんセンター、暮らしサポートセンター、地域福祉コーディネーター、生活支援コーディネーター等 - こんな時どうするシリーズ 「住まいに困ったら」「認知症になったら」「親の介護が必要になったら」等 （5分程度のDVD作成。詳細は市のホームページとリンクさせるような仕組みを作る） - たちかわ健康体操 - 高齢期を迎えて活躍している人のショートムービー 【設置物】 雑誌を健康や医療分野だけでなく、趣味活動に波及するような書籍にする
我が事としてゼロ次予防を捉える機会への仕組み案	DVD作成に地域の力を活用（企画、撮影、編集等） - SNS活用世代による効果的な情報発信方法の検討 - 団塊の世代の方々の協力 - 市内でDVD作成を行っている企業の協力

在宅医療・介護サービス資源マップ																																																															
経過	【H29 年度】 10 月 紙版作成。65 歳以上の市民がいる世帯へ全戸郵送。また窓口・イベント配布実施。 11 月 電子版を市ホームページ上に掲載。 【H30 年度】 3 月 立川・昭島・武蔵村山 3 市共用の運営となったことによる電子版の画面が変化。 【H31 年度】 電子版の医科、歯科、薬局、訪問看護ステーションの情報更新。 【R2年度、R3年度】 電子版の医科、歯科、薬局、訪問看護ステーション、介護事業所の情報更新。																																																														
紙版について	平成 29 年度に作成した後、情報の更新を行っていないため市民へ再度周知を行うにあたって、毎年情報更新している WEB 版の情報をもとに紙版マップの情報更新を図る。 更新の方法、予算措置について、今後内部調整を行う。																																																														
Web 版更新情報	令和 4 年 1 月 5 日時点 <table><tr><th></th><th>件数</th><th>照会</th><th>回答</th><th>新規</th><th>更新</th><th>掲載</th><th>非公開</th></tr><tr><td>医科</td><td>163</td><td>119</td><td>24</td><td>4</td><td>20</td><td>83</td><td>40</td></tr><tr><td>歯科</td><td>126</td><td>107</td><td>21</td><td>11</td><td>10</td><td>71</td><td>18</td></tr><tr><td>薬局</td><td>98</td><td>91</td><td>23</td><td>4</td><td>19</td><td>77</td><td>3</td></tr><tr><td>看護</td><td>19</td><td>19</td><td>6</td><td>0</td><td>6</td><td>17</td><td>0</td></tr><tr><td>介護</td><td>239</td><td>173</td><td>55</td><td>19</td><td>36</td><td>130</td><td>0</td></tr><tr><td>計</td><td>626</td><td>509</td><td>129</td><td>38</td><td>91</td><td>378</td><td>61</td></tr></table>								件数	照会	回答	新規	更新	掲載	非公開	医科	163	119	24	4	20	83	40	歯科	126	107	21	11	10	71	18	薬局	98	91	23	4	19	77	3	看護	19	19	6	0	6	17	0	介護	239	173	55	19	36	130	0	計	626	509	129	38	91	378	61
	件数	照会	回答	新規	更新	掲載	非公開																																																								
医科	163	119	24	4	20	83	40																																																								
歯科	126	107	21	11	10	71	18																																																								
薬局	98	91	23	4	19	77	3																																																								
看護	19	19	6	0	6	17	0																																																								
介護	239	173	55	19	36	130	0																																																								
計	626	509	129	38	91	378	61																																																								

報告事項④

立川市看取り支援フォーラム開催報告	
内容	在宅ホスピス・緩和ケアは日本を救う 第24回 日本在宅ホスピス協会全国大会 午後の部（市民講演会） 日時：令和4年2月19日（土）13：00～15：00 対象：市民、その他 方法：Zoom ウェビナーによるオンライン配信 内容： ①「在宅ホスピスは日本を救う-SDGsの観点から読み解く」 千葉県立保健医療大学リハビリテーション学科 准教授 安部能成 座長：日本在宅ホスピス協会 会長 小笠原文雄 ②「最期の瞬間 あなたの眼に映るものは何ですか？」 立川在宅ケアクリニック 院長 莊司輝昭 座長：立川市医師会 会長 村上幸人 アクセス数： ユーザー 参加者： 名
	市民講演会参加者の感想

上記、「アクセス数」「参加者」「参加者の感想」については、資料送付日程の都合により空欄としておりますが、協議会当日にご報告させていただきます。

認知症ケアパス	
目的	【国のガイドライン】 認知症の人ができる限り住み慣れた自宅で暮らし続け、また、認知症の人やその家族が安心できるよう、標準的な認知症ケアパス（状態に応じた適切なサービス提供の流れ）の作成と普及を推進する。
経過	【平成 29 年度】 A 2 サイズで、6 圏域ごとに作成した「立川市在宅医療・介護サービス資源マップ」の裏面に認知症ケアパスの簡易版「立川市認知症ガイド」を掲載。 【平成 30 年度】 資源マップとは別に A 4 サイズの冊子を作成し、平成 31～33（令和 3）年度において 12000 部配布。 配布先：市役所窓口、連絡所、福祉会館、地域包括支援センター、福祉相談センター、認知症疾患医療センター、三師会、市内一部病院、団体、企業、講座・イベント参加者。
冊子構成	1 立川市の認知症ケアパス 2 認知症とはどんな病気？ 3 認知機能低下に伴う行方不明に備えましょうマニュアル（概要版） 4 「自分でできる認知症の気づきチェックリスト」をやってみましょう！ 5 認知症の受診と治療 6 認知症の人と家族を支える 7 認知症を予防する 8 認知症支援事業のご案内
作成部数	9,000 部（令和 4 年度から令和 6 年度の 3 か年で使用）
活用方法	市役所高齢福祉課、地域包括支援センター、福祉相談センター等に設置して認知症に関する普及啓発や相談に活用する

令和4年度 在宅医療・介護連携推進協議会 日程・内容(案)

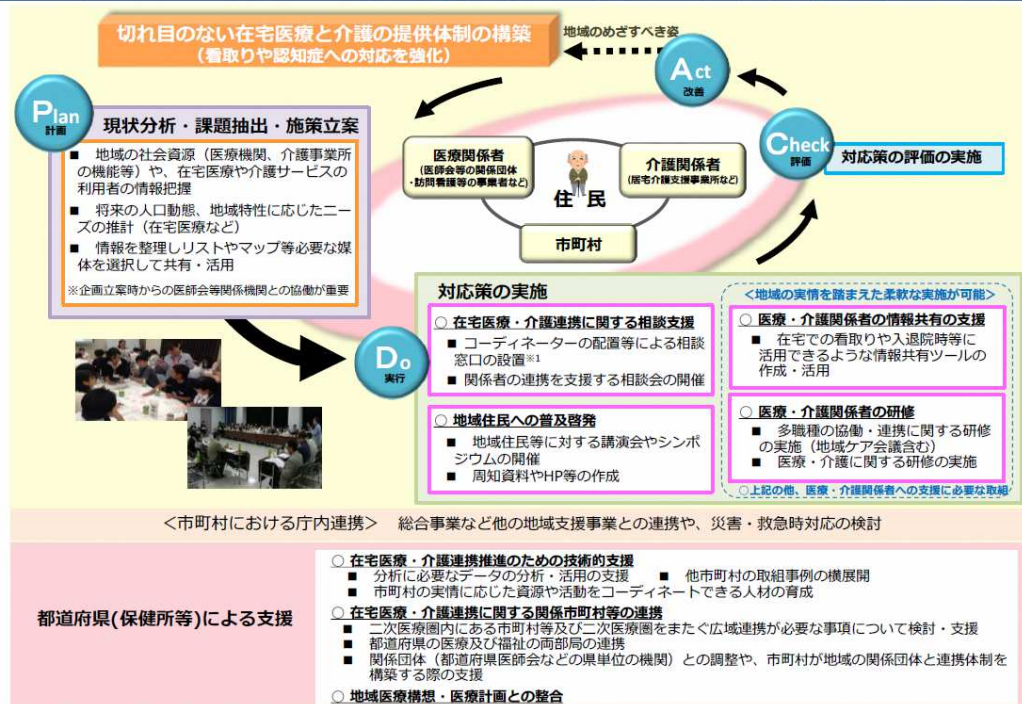
日時

令和4年5月27日(金)	13:30～15:00	302会議室
8月19日(金)	13:30～15:00	302会議室
11月25日(金)	13:30～15:00	101会議室
令和5年2月24日(金)	13:30～15:00	302会議室

令和3年4月1日に介護保険法施行規則の一部を改正する省令の公布がなされたことにより、在宅医療・介護連携推進事業の見直しが行われた。(厚生労働省)

厚生労働省が示した在宅医療・介護連携推進事業

地域包括ケアシステムの実現に向けた第8期介護保険事業計画期間からの在宅医療・介護連携推進事業の在り方



目指すべき姿

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

在宅医療・介護連携推進事業の事業内容

ア 現状分析・課題抽出・施策立案（計画）

（ア） 地域の医療・介護の資源の把握

㊦在宅医療・介護サービス資源マップの活用と情報更新

- ・WEB版の情報更新アンケート
- ・紙版マップの情報更新及び周知・啓発

（イ） 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

㊦在宅医療・介護連携推進協議会の開催（年4回）

㊦医療・介護に関する基礎データ収集・整理

- ・地域包括ケア「見える化」システム、国保データベース（KDB）システム等を活用したデータ分析と課題の抽出

（ウ） 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築の推進

㊦多職種研修の継続（シンポジウム、グループワーク、在宅医療・病院連携支援研修）

㊦-1：医療介護連携推進多職種研修

- ・介護に係る職種を対象に研修会（シンポジウム、グループワーク）を2回実施
- ・研修の仮テーマ：「立川市の医療・介護専門職の実力の底上げ」
- ・研修の仮目的：「立川市内において、実際に在宅療養者の居宅等の現場で、ケアを行うヘルパー等の介護職が、在宅医療・介護連携について学習できる研修を実施する」

㊦-2：在宅医療・病院連携支援研修

- ・医療関係の職員を対象に在宅医療と病院連携について学んでもらうことを目的として在宅ケアクリニックでのカンファレンス、訪問診療等に同行する。年2回実施。

イ 対応策の実施

（ア） 在宅医療・介護連携に関する相談支援

㊦立川市在宅医療・介護相談窓口担当による相談支援の継続

㊦出張暮らしの保健室による個別相談の受け付け

（イ） 地域住民への普及啓発

㊦市民向け講演会の開催の継続（看取り支援フォーラム：基調講演シンポジウム、関係機関展示など。地域福祉市民フォーラム）

㊦4/25号、10/10号の広報たちかわへの掲載

（ウ） 医療・介護関係者の情報共有の支援、知識の習得等のための研修などの地域の実情に応じた医療・介護関係者の支援

㊦北多摩西部保健医療圏域内医療機関連携窓口情報 更新継続

㊦在宅医療・介護サービス資源マップの活用と情報更新の継続

ウ 対応策の評価の実施、改善の実施

（地域支援事業実施要綱より抜粋）

令和3年度東京都在宅療養研修事業「在宅療養推進研修」参加者選出について	
目的	地域において在宅療養の中心的な役割を担う人材（在宅療養地域リーダー）を育成し、地域の在宅療養推進の取組を充実させること。
研修概要	【実施主体】 東京都 【実施機関】 公益社団法人東京都医師会 【日程】 令和4年3月15日（火曜日）午後2時から午後5時まで 【研修対象】 行政職員、区市町村から選出された医師、医療・介護の多職種 ※研修運営の都合上、東京都にて参加数を調整する場合がある。 ※医師（2名程度※原則として診療所医師・病院医師各1名）、医療・介護の多職種（3名程度）、区市町村行政職員（2名程度）で構成する7名程度のグループを編成すること。 ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、7名程度のグループ編成が難しい場合は、少人数（行政職員のみ等でも可）の参加でも差し支えない。 【研修方法】 ・Web 会議によるリアルタイム・オンライン講義、グループワーク ・Web による接続及び運営の都合上、各区市町村1 端末（同一区市町村の出席者は一か所に集合）での出席。 【研修内容】 ① 「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」の改訂について 講師：埼玉県立大学研究開発センター 教授 川越 雅弘 先生 ・令和2年9月に改訂のあった「在宅医療・介護連携推進事業の手引き」を紹介し、4つの場面を意識したPDCA サイクルの考え方や展開方法について理解を深める講義 ② グループワーク ・4つの場面（日常の療養支援、入退院支援、急変時の対応、看取り）それぞれの場面での取組状況と課題について意見交換 ・今回は、各区市町村1 端末での出席とするため、まず各区市町村内で意見交換を行い、一つのワークシートを作成した後、同一の場面を選択した他区市町村との意見交換を行う形式となる。 ・各区市町村内での進行役と書記役を募集時点で決定する。 ③ 全体共有 ・川越先生の進行により、②で意見交換した内容の全体共有を行う。 【研修受講にあたって】 予め「在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver. 3」を通読すること。手引きは、下記厚生労働省ホームページからダウンロード可能。 （参考）令和2年9月厚生労働省老健局老人保健課「在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver. 3」 https://www.mhlw.go.jp/content/12400000/000666660.pdf

